



かおる

学校便り No.11

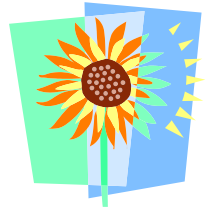
平成26年8月26日

郡山市立薫小学校

児童数 426名

文責：小林 伸行

充実の2学期に向けて、さあ、スタート！



この夏は、猛暑が続いた夏でした。ご家庭においても、お子さんの体調の維持・管理が例年にも増して大変だったのではないかと思います。

長かった夏休みも無事に終わり、今日からいよいよ2学期が始まります。お子さんの「健康」や「安全」に向けてのご家庭でのこまやかな配慮、ありがとうございました。

◎「事故ゼロ」で2学期を迎えることができました

この夏休み期間中に、子どもの「命」にかかわる大きな事故等の報告は1件もありませんでした。子どもたち一人一人が、「自分の命は自分で守る」との考えのもと、夏休み前に指導されたことをしっかりと守ってくれたことと、保護者の皆様のご協力、ご指導のおかげと考えます。

この夏休みには、普段の学校生活ではなかなか体験できない自然との豊かなかわりや、地域行事への積極的な参加など、子どもたちは様々な体験を重ねることができたようです。連日の猛暑の中、特設体育部や合奏部、合唱部の子どもたちも、それぞれの目標に向けて一生懸命に練習に取り組んでいました。子どもたちの頑張りは見事でした。夏休み期間中のご家庭での温かな励まし、見守りにも感謝します。

◎子どもたちの更なる成長に期待が大きく膨らみます

2学期の授業日は、81日です。一年で一番長い学期となります。夏休みにじっくりと蓄えたエネルギーを基にして、本校が目指す「心豊かな子ども」「考える子ども」「すこやかな子ども」の実現に向け、この2学期、子どもたちは力強くジャンプしてくれるはずです。

そのために、まずは、これまでの夏休みの生活のリズムから、学校生活の規則正しいリズムへと切り替えを早くすませたいものです。「早寝、早起き、朝ご飯」、この合い言葉のもと、早めに元の生活リズムに戻すことができますように言葉かけをお願いします。

また、2学期の生活・学習のめあてを立てさせることも大事です。1学期の成果と反省に立って、「なりたい自分の姿に向かって、どのような方法で取り組むのか」をできるだけ具体的に考えさせたいと思います。ご家庭におきましても、お子さんが2学期どんなめあてを立てたのか、ぜひ、話題にしていただければありがたいです。

2学期の始業式においては、「心のスイッチを切り替えて、さっそく今日から一歩、前に踏み出してみよう！」と子どもたちに投げかけてみました。学期始めのこの時期、お子さんのやる気、意欲あふれる言動に注目して、ぜひ、賞賛の言葉かけをお願いします。子どもたちにとって、保護者の皆様の言葉かけは大きな励みとなります。



トピックス ◇ 地区の絆も深まりました～薫地区対抗球技大会～

夏休みがスタートしたばかりの7月20日(土)。本校体育館において、PTA主催の「第46回薫地区対抗球技大会」が開催されました。

今年は、14子ども会から全14チームが参加。ドッジボールの試合を通して、子ども会相互の親睦を図りました。この大会に向けて事前に練習を重ねてきただけに、どのチームも息がぴったりと合って、内野と外野の連係プレーが随所に見られました。



《ジャンプボールで、いよいよ試合開始です!》

また、プレーばかりでなく、応援の姿も立派でした。決められた応援待機場所に座り、高学年の子どもたちを中心に互いのプレーに大きな拍手と声援を送ることができました。

熱戦の結果、男子はIグループが鶴一東、IIグループが合併チーム3(二松町会・深沢第1・深沢第2)、女子はIグループが合併チーム4(鶴3・池ノ台・鶴1西)、IIグループは合併チーム3(二松町会・深沢第1・深沢第2)がそれぞれ優勝しました。

この大会の準備・運営に携わっていただきましたPTA育成委員並びに子ども会の役員の皆様、子どもたちに素晴らしい活動の場を提供いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

◇ 涼しさの中、学習も進みました～「サマー・スクール」開催～



今年度の市教育委員会の「地域を生かした教育パワーアップ事業」の一環として、本校と薫公民館の共催で「サマー・スクール」を開催しました。今回、参加を希望したのは1年生から6年生までの63名。開催期間は3日間と限られていましたが、会場となった薫公民館の和室は、連日、夏休みの勉強に取り組む子どもたちで一杯になっていました。

《なごやかな雰囲気勉強が進んでいました1》

今回の「サマー・スクール」には、地域コーディネーターをお願いしている塩田PTA副会長さんに加えて、毎回、2名ずつの講師の方に子どもたちの学習を支援していただきました。最終日には、会津学鳳中学校の生徒3人もボランティアとして参加して、子どもたちに熱心に助言してくれました。

◇ たくさんの善意の中の活動でした～「薫っ子イン姫路」～

被災地児童受け入れ事業として実施された『2014夏 ひめじイン薫っ子』に、16名の本校児童が参加しました。8月3日(日)から7日(木)の4泊5日の中で、姫路市長の表敬訪問や姫路城見学、川遊び、さおり体験教室への参加など、充実した活動ができたようです。

今回、受け入れをしていただいた姫路人権ネットワークのボランティアの皆様、それをつないでいただきました元PTA会長の佐藤徹哉様、ありがとうございました。



《大きな荷物を手に引いて元気いっぱいに出発!》